

桜の里便り



令和2年度 第8号

大雪の中で、人の温かさと思いやりに触れた新聞

校長 茂木 徹



ここ十数年、暖冬のおかげか、雪がほとんどない年末年始でした。しかし、今年は一転、日常生活もままならぬほどの大雪で2021年丑年が始まりました。

今回の降雪は、本当に厳しく市内の各所で除雪が間に合わなかったり、渋滞が発生したり、学校も休校せざるを得ないほどでした。私が住む上越市吉川区でも、必ず来る自宅前の道路除雪が入らず、路面には1m程の雪が積もり車の行き来が全くできない孤立状態でした。

そんな降雪が続いた1月10日の昼前、玄関周りの除雪が一段落したとき、雪道を近所の若者（若者と言っても40代…高齢者集落のような所です）がスコップを担いで歩いてきました。彼は「雪にはまって出られない車があるらしいんです」と私に言いました。ちょうど一息ついたところだったので、私もスノーダンプを抱えて一緒に現場に向かいました。すると、路地を曲がった所に1台の車が立ち往生していました。車の周りには雪をかいた痕が見えます。一人で雪をかいたんだなと思いました。ふとその姿を見ると、毎日新聞を配達してくださる方でした。雪がしんと降る中、朝早くに代理店へ新聞を取りに行き、やっとのことで戻ってきたら動けなくなったそうです。その方は、すでに4時間近く奮闘されていました。さぞかし大変だったことでしょう。たまたま近所の方が自宅の除雪で外に出たときに気づき、知り合いに知らせたことで、私を含めた数人が駆けつけました。しかし、道路の雪は1mはあり、道幅も狭く道の真ん中で動けなくなっている車を手作業で救出するのは困難を極めました。10m前に進んで2m近く積もった空き地を除雪するか、道の雪をどかして30m後退して近所の方の敷地に車を入れるか、みんなで考えました。（学校で大切にしている「生きる力」、こんな時こそ考えを出し合うことの大切さを感じました）結局、除雪機で道の雪を半分程度に減らし、バックで下がって近所の方の敷地に3日間、車を置かせていただくことに決め、作業しました。中には近所のおばあさんも手を貸してくれました。

作業が進み、車が動き始め、何とか敷地に収まることのできたとき、参加した人はみんな満面の笑みを浮かべるとともに、「よかった!よかった!」と口々に喜びました。そして、何事もなかったような顔で家路につかれました。私たちが帰ろうとしたとき、新聞配達の方が、車に駆け戻り、一人一人に「ありがとうございました。新聞が遅くなってすみませんでした。」と言って1月10日付けの新聞を手渡していました。私はその新聞を受け取り心が熱くなりました。みんなのために極寒の早朝から新聞を配ろうした中での立ち往生。そんな状況でも新聞を待つ人へ謝罪の言葉。私は、「全然、遅くないですよ。むしろ、他の家庭よりも早く新聞を届けていただきありがとうございました。」と返しました。

誰かのために行動する。その行動が誰かの心を温かくする。大雪の中の体験から大切なことを学んだと思います。2021年も貢献・プラス思考で進んでまいります。



クラブ活動

日吉小学校では、4～6年生がクラブ活動に参加しています。今年度はスポーツ・読書・パソコン・茶道・家庭科・室内ゲームの6つのクラブを設置しました。今年度から1校時40分間の午前5時間制で授業していますが、クラブ活動は午後の「短時間学習(20分間)」と「6時間目(40分間)」を続けて60分間で活動しています。昨年度まで1校時が45分間でしたので、どのクラブも、活動の時間を十分に確保することができ、充実した取組を行うことができています。



家庭科クラブ



茶道クラブ

ホームページが新しくなりました！

12月中旬から、柏崎市小中学校のシステム変更により、ホームページが新しくなっています。

以前のホームページとはURLが変わっていますので、お気に入りに登録している方は新URLに変更をお願いいたします。

新URL <https://www.kenet.ed.jp/hiyoshi/>



★★登下校の見守り、除雪作業、通学路の情報等 ありがとうございました！★★

冬休みが終わったと思ったら、突然の大雪による休校。ご家庭でも除雪や外出できないことでのご苦勞があったことと思います。そんな中、学校再開に向けて情報をお寄せくださったり、地域の皆さんで前日に歩いてくださったり、除雪してくださったりと、子どもたちのためにご支援いただきありがとうございました。まだしばらく冬の天候が続くようです。ご自身の安全に気を付けながら引き続きご協力をお願いいたします。

